

【最先端の AI サービスを気軽にお試し】 エッジ AI プラットフォーム「Actcast」、無料トライアルを提供開始 8 月末までの期間限定、小売業や製造業での DX を促進

Idein 株式会社（読み：イデイン、本社：東京都千代田区、代表取締役：中村晃一）は、国内シェア No.1 であるエッジ AI プラットフォーム「Actcast」の無料トライアルを期間限定で提供開始いたしました。

小売り業や製造業のデータ活用に役立つ
AIカメラがいまなら最大2週間無料で試せる
【無料トライアル】消費者把握AI & メータ自動読み取りAI



国内シェア **No.1**
エッジAIプラットフォーム

Actcast

【国内シェアNo.1について】デロイト トーマツ ミック経済研究所『エッジAIコンピューティング市場の実態と将来展望 2021年度版』
「エッジAIプラットフォームのベンダシェア(台数)」の調査結果による

【無料トライアルの概要】

この無料トライアルは、エッジ AI プラットフォーム「Actcast」と連携した AI カメラ 1 台を無償でお貸出しすることで、最先端の AI を気軽にお試しいただけるものです。

お試しいただける AI は、当社のお客様のニーズの高い、以下の 2 種類です。

- ① 消費者把握 AI（主に小売業向け）：「人流の計測」や「属性の把握」ができるため、来店しただけの非購買客のデータも取得できるようになるため、データに基づいた様々なマーケティング施策が打てるようになります。
- ② メータ自動読み取り AI（主に製造業向け）：工場などの現場に設置されているメーター（アナログ/デジタル）の数値を自動で読み取るため、作業員の巡回による確認作業が不要になり、工場内の既存設備を入れ替えせずに省人化と 24 時間自動監視体制が可能になります。

▼無料トライアルのお申込みフォームはこちら

<https://bit.ly/3bAW5bZ>

【無料トライアルを提供する経緯と背景】

昨今、DX 推進の流れを受け、現場の課題解決に AI を取り入れてみたい、AI を活用して DX を実現したいなど、AI に対する期待値は高まっています。しかし、実際には AI を取り入れるにはハードルを感じている企業が多く、日本は米国に比べて DX が進んでいないのが現状です。独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が 2021 年に刊行した「DX 白書」によると、全社戦略に基づいて DX に取り組んでいる企業が米国では 7 割を超えているのに対し、日本は全体の半分以下（45.3%）にとどまっています。また、AI 技術の活用状況については、日本は米国の半分以下と大きな差があります（日本:20.5%、米国:44.2%）。

こういった背景を踏まえ、Idein の豊富な経験・導入実績を元に、まずは試していただける環境づくりが必要との思いから、今回のキャンペーンを実施するに至りました。「AI を試してみたいけどどこに相談したらよいかわからない」や、「AI を過去に取り入れてみたもののうまくいかなかった」といった悩みをお持ちの場合は、是非お気軽にお試しください。

【エッジ AI プラットフォーム「Actcast」について】

Actcast は、画像や音声等の解析技術を用いて実世界のデータを収集・活用できるようにする国内シェア No.1 のエッジ AI プラットフォームです。2020 年 1 月に正式版リリース後、わずか 2 年ほどで累計登録台数が 15,000 台を突破。その急成長の背景には実証実験にとどまらず商用利用による全国数千店舗でのリモート運用など、当社の技術力と運用実績を高く評価いただいている点があります。

また、AI カメラ導入にあたり主な懸念となるコスト面や個人情報保護についても、従来のクラウド AI カメラと異なり、エッジ AI プラットフォーム「Actcast」であればクリアすることができます。

▼「Actcast」の特長

- 高度な AI 解析をクレジットカードサイズの小さく安価なデバイスでできるため、デバイスのコストを劇的に削減できる（通常は数十万円のデバイスを使用するような AI 解析を数千円のデバイスで使用可能）
- 当社独自の高速化技術により AI モデルの軽量化をすることなく最先端の AI 解析ができる
- リモートで複数デバイスの管理・運用ができる
- エッジ AI は必要最低限の情報だけをクラウドへ送るため、プライバシーに配慮しながら利用できる



「国内シェア No.1」について

デロイト トーマツ ミック経済研究所『エッジ AI コンピューティング市場の実態と将来展望 2021 年度版』「エッジ AI プラットフォームのベンダシェア（台数）」の調査結果に基づく

■ Idein 株式会社について

安価な汎用デバイス上での深層学習推論の高速化を実現した、世界にも類を見ない高い技術力を有するスタートアップです。当該技術を用いたエッジ AI による現場データ収集プラットフォーム「Actcast」を開発し、実用的な AI/IoT システムを開発・導入・活用する開発者及び事業会社へのサービス提供を行っております。今後もパートナー企業と共に、AI/IoT システムの普及に貢献してまいります。「実世界のあらゆる情報をソフトウェアで扱えるようにする」をミッションに掲げ、日本国内では経済産業省 J-Startup 選定をはじめ、日本経済新聞社 NEXT ユニコーン企業にも選ばれています。英 Arm 社の AI Partner や、米 NVIDIA 社の Inception Program Partner になるなど、海外でも高く評価いただいています。



【設立】 2015 年 4 月 7 日

【代表者】 代表取締役 中村 晃一

【所在地】 東京都千代田区神田神保町 1-4-13

【資本金】 2,867 百万円（資本剰余金含む/2021 年 9 月時点）

【事業内容】 Actcast（エッジ AI プラットフォーム）事業、受託開発事業（次世代自動車技術開発での協業等）

コーポレートサイト URL: <https://www.idein.jp>